

平成 29 年度 高大連携連絡協議会 記録

日時：平成 30 年 3 月 20 日（火）15 時 00 分～16 時 00 分

場所：湘北短期大学 4 号館 411 教室

出席：湘北短期大学 12 名

宮下 佐藤（清）小棹 小森 小泉 佐藤（知）加藤 高嶋 赤井 谷口 北野 岡廣
連携高校 11 校 11 名 （ ）内は高校名
中川（愛川） 橋元（相原） 石井（厚木北） 金沢（厚木清南） 高橋（厚木西）
磯田（厚木東） 小俣（綾瀬） 吉垣（有馬） 落合（小田原東） 牧石（茅ヶ崎）
鈴木（平塚湘風） （計 23 名 敬称略）

欠席校：足柄、厚木商業、伊志田、伊勢原、海老名、川崎総合科学、座間、中央農業、二宮、高浜、
秦野総合、藤沢清流、舞岡、山北、町田工業、平塚商業（オブザーバー参加の予定）

1. 平成 29 年度 事業報告

1) 出張授業/その他 【資料④】に基づき説明を行った。（小棹）

- ・ 「社会で必要とされる基礎学力と教養」をテーマとして高大連携教育研究会を 2 度開催。その議論を参考にリベラルアーツ科目の再編を行った。
- ・ 高大連携通信を 2 ページから 4 ページに増やし、高校からの寄稿を掲載した。
- ・ 湘北の Web サイトをリニューアルした。タイムリーでアクセスしやすい情報発信が可能になった。

2) コミュニケーションリテラシー実施報告 【資料⑤】に基づき説明を行った。

今年度の申し込み率は 3 月 16 日現在で 96.8%（514 名）、連携高からの参加申し込み率は 100%。

2. 平成 30 年度 事業計画 【資料⑥】に基づき説明を行った。（小棹）

- ・ 高大連携教育研究会のテーマは「アクティブラーニング第 2 ステージ」、「キャリア教育」を予定。
- ・ 夏休み中にメディアワークショップを開催。ニュース等に興味を持たせることを目的とする。

3. 意見交換

教育交流協定に変更はなく、H29 年度報告ならびに H30 年度事業計画をご承認いただいた。参加高校の各先生方から高大連携教育研究会や「コミュニケーションリテラシー」、各高校での新たな取り組みなどについて次に示すような質問・ご意見をいただいた。

- ・ コミュニティスクールとなるため、今後地域・大学との連携を強化したい。
- ・ インクルーシブ教育を行うことになったため、さまざまな試みを行うことになる。湘北とも連携したい。
- ・ アクティブラーニングを行う前に、知識が足りないと感じる。うなずきがあっても本当に理解しているのか、疑問に感じることが多い。
- ・ 「アヤセチャレンジタイム（ACT）」で知識の定着を図っている。
- ・ 「コミュニケーションリテラシー」は、高大接続授業として生徒も参加を楽しみにしている。資料（5-2）の中に生徒名を発見して様子が伺えた。
- ・ 今年度から連携担当になったので、入学前授業をはじめて知った。とても良いプログラム、高校に帰って報告する。
- ・ 教職員向けに、授業改善の目的で研修のような出張授業があるとありがたい。
- ・ これまで出張授業を依頼していなかったが、30 年度からぜひお願いしたい。

4. その他

【資料⑦】のアンケート用紙にご意見等を記載いただき 4 月 13 日（金）までに F A X にて送信をお願いして、意見交換の時間を終えた。

以上